

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年8月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社ナカボーテック
所在地	〒104-0033 東京都中央区新川1-17-21
代表者役職・氏名	代表取締役社長 木村 浩
担当者連絡先	電話：03-5541-5816
	メール：k.tanaka@nakabohtec.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.nakabohtec.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、1951年に創業し防食、防錆及び防水に関する事業を開始しました。港湾インフラ施設の電気防食、被覆防食、塗装防食の技術の中から環境及び対象施設に適した工法を選定し工事及び製品等販売を行っています。当社が営む港湾施設の電気防食、被覆防食、塗装防食は、港湾インフラ施設の長寿命化を通じて廃棄物削減・資源保護・災害防止を実現し、持続可能な社会の実現に貢献するものです。加えて、洋上風力施設の電気防食技術を提供することにより、再生可能エネルギーの導入等を促進する一助となることを期待されております。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	・カーボンニュートラル実現に向けたCO2の削減及び環境負荷低減への継続的な取組 ・再生可能エネルギー事業の参画	・社用車のハイブリッド車への更新100% EV車導入を検討 ・自社敷地内への太陽光パネル設置検討 ・洋上風力発電関連事業の工事受注 5件
□環境 ✓社会 ✓経済	・業務効率化による時間外労働の短縮	・時間外労働 45時間未満/月、 360時間未満/年 の達成
□環境 ✓社会 □経済	・ダイバーシティ経営の推進 ・「働き易さ」と「働き甲斐」の両立	・全基幹職採用のうち女性基幹職採用 20% ・コンプライアンス、ハラスメント研修の実施 ・健康優良企業継続及び「くるみん」認定取得

(次項へ続く)

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	業務に使用する化学物質を把握し、SDSを入手・周知したり、危険物取扱者を配置する等、適正な使用に努めています。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	溶解炉、保持炉を電気炉とし、ばい煙等大気汚染の発生が無いよう配慮しています。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	貯水槽1回あたりの加工作業の複数回化等、工程で使用する水道水の効率的な利用を進めています。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	—			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	環境基本方針に則り、必要に応じて適宜開示を行っています。										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	自社工場内において、ソーラーパネルの設置等再生可能エネルギーの利用を検討しています。							7.2				13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	—										12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	製品の安全性確保のため各種SDSの整備およびリスクアセスメントの実施、定期的な安全衛生委員会における情報発信や現場安全パトロールを実施しています。			3.9							12.4							
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステム(ISO9001)運用及び不具合防止のため、品質保証室を組織し、品質管理委員会および小委員会にてISOのルール解説や現場品質パトロールを定期的実施しています。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	—						6				12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	—	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	防食事業を通じて各地域のインフラ整備やライフラインの維持・延命に貢献するよう事業活動を行っており、近隣住民の皆様に配慮して騒音や粉塵の防止に努めています。				4					9	11	12		14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	ジャパブルーエコノミー技術研究組合/ブルーカーボン・クレジット制度(Jブルークレジット)において、自然系炭素除去のプロジェクトに貢献しているほか、本社や各支店において清掃ボランティアを行うなど、積極的に取り組んでいます。				4						11			14	15		17	
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	防食事業に関わる労働者及び資機材について、地元企業の起用など各地域での調達に努めています。								8	9	11	12	13					

